

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成20年5月8日(2008.5.8)

【公表番号】特表2007-530703(P2007-530703A)

【公表日】平成19年11月1日(2007.11.1)

【年通号数】公開・登録公報2007-042

【出願番号】特願2007-506442(P2007-506442)

【国際特許分類】

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 P 25/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/426 (2006.01)

A 6 1 K 31/192 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 45/00

A 6 1 P 43/00 1 0 1

A 6 1 P 25/00

A 6 1 P 25/00 1 0 1

A 6 1 K 31/426

A 6 1 K 31/192

【手続補正書】

【提出日】平成20年3月19日(2008.3.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

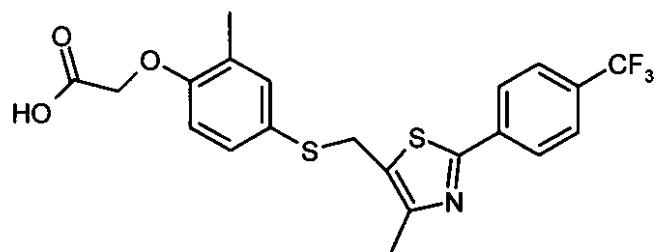
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

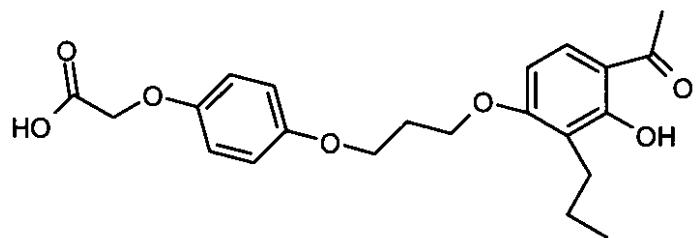
【請求項1】

式(1)および式(2)：

【化1】



(1)



(2)

で示される化合物からなる群より選択される化合物を、多発性硬化症、シャルコー・マリー・ツース病、ペリツェウス・メルツバッハ病、脳脊髄炎、視神経脊髄炎、副腎白質ジストロトフィー、ギラン・バレー症候群、ならびに脊髄損傷、神經障害および神經損傷を含むミエリンを形成するグリア細胞が損傷を受ける障害を治療するのに有効な量で、少なくとも1種の製薬上許容できるキャリアーと組み合わせて含む医薬組成物。

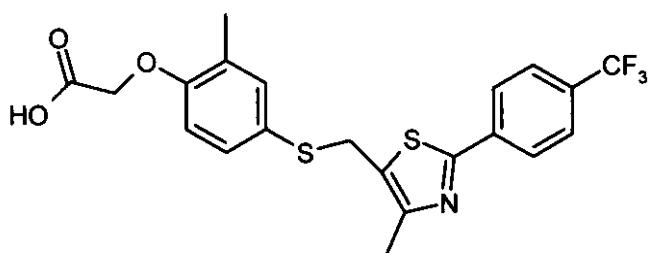
【請求項2】

多発性硬化症を治療するのに有効な量を含む、請求項1に記載の医薬組成物。

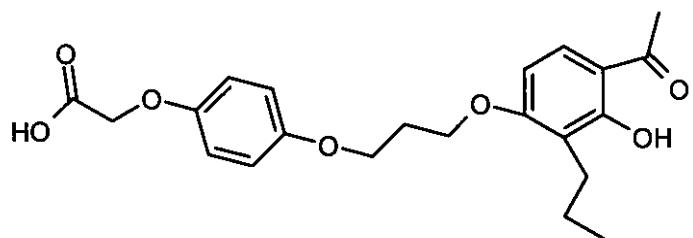
【請求項3】

脱髄疾患を治療するための医薬組成物を製造するための、式(1)および式(2)：

【化 2】



(1)



(2)

で示される化合物からなる群より選択される化合物の使用。

【請求項 4】

脱髓疾患は、多発性硬化症、シャルコー・マリー・ツース病、ペリツェウス・メルツバッハー病、脳脊髄炎、視神経脊髄炎、副腎白質ジストロトフィー、ギラン・バレー症候群、ならびに脊髄損傷、神経障害および神経損傷を含むミエリンを形成するグリア細胞が損傷を受ける障害から選択される、請求項 3 に記載の使用。